

【食品表示活用研究会＝2017年度活動報告＝】

〈食品表示活用研究会とは〉

当協会の「上級合格者の会」の会員を母体とし、会員の応募により構成された「食品表示」をより良く理解、活用していくための研究会です。

2015年7月に「上級合格者の会」会員に向けて「勉強会」の呼びかけを行い、20名の会員でスタートしました。翌2016年度からは、「食品表示活用研究会」と改名し、上級合格者の会から会員を募り、65名の方が参加しました。また、同時に会の運営を会員の方に委ねる「世話人」を選出、自主的な会の運営を旨に幅広い活動を行ってきました。

2017年度は、会員数も82名に拡大。3つの部会がそれぞれの独自の研究を行い、毎年3月には3部会の成果発表会で活動を総括します。

〈食品表示活用研究会の目的〉

食品表示制度の円滑な運営に寄与するために、

1. 有識者を招いて食品表示に関する理解の向上を図る
2. 会員同士の情報交換の場の提供と課題解決の共有
3. 消費者への食品表示ルールの認知促進
4. 食品表示に関する調査研究の実施

〈食品表示活用研究会 2017年度の活動〉

●総会員：82名（うち、世話人 11名）

＝世話人が中心となり、下記の3部会の研究活動を企画・運営しました＝

役職	氏名（敬称略）	企業・団体（2018年3月時点）
会長（部会長）	天明 英之	味の素株式会社
副会長	大西 由美	株式会社タカキフードサービスパートナーズ
副会長（部会長）	遠藤 睦子	フジフーズ株式会社
会計長（部会長）	古宇 朗人	SOMPO リスケアマネジメント株式会社
会計	千葉 さち	らでいっしゅぼーや株式会社
会計	堀田 泰弘	敷島製パン株式会社
会計	川東 秀規	株式会社BMLフード・サイエンス
事務長	岡本 美穂	国分グループ本社株式会社
事務	菅谷 博之	花王株式会社
事務	大浦 美紀	株式会社フランソア
事務	川上 正孝	株式会社サニーフーズ

●3 部会の活動

*会員数は世話人を除く

部会名	活動概要	会員数
事業者実務部会	企業・団体の食品表示担当者が自社での食品表示をどのように取り組んでいるかを発表。業種業態を超えて知見を高めるとともに、課題点などを討議し、食品表示の実務レベルアップを図る。グループワークあり。	24名
専門家との交流部会	食品表示に関する専門家の講師を招き知見を高めるとともに、諸問題解決の突破口を講師とともに意見交換し交流を深め、食品表示のエキスパートとしての確立を目指す。グループワークあり。	26名
消費者部会	消費者へ食品表示の正しい知識を広めるための研究会。消費者への食品表示の啓発活動や情報伝達の方法などを議論する。小冊子「食べ物探検隊」の改訂を実施。グループワークあり。	21名

●各部会の活動

		事業者実務部会	専門家との交流部会	消費者部会
第1回	開催日	2017年8月1日	2017年7月24日	2017年8月9日
	テーマ	<ul style="list-style-type: none"> 食品表示作成の流れと悩み共有 豆腐業界の動向と表示取組 	<ul style="list-style-type: none"> 客観的な分析によるわかりやすい食品表示 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい原料原産地表示制度と消費者への普及活動
第2回	開催日	2017年11月17日	2018年9月15日	2017年11月10日
	テーマ	<ul style="list-style-type: none"> 平時・有事における外部専門家連携 食品スーパープライ斯拉ベル作成の課題と解決 	<ul style="list-style-type: none"> 食品表示基準に基づく食品添加物の表示 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者はどのように食品表示を見ているか。普及・啓発の方法 小冊子「食べ物探検隊」改訂①
第3回	開催日	2018年1月31日	2017年11月27日	2018年2月19日
	テーマ	<ul style="list-style-type: none"> 商品決定から表示作成、食材輸入時の通関等の問題点、 食品表示の対応課題と今後の取組 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養成分表示の実務について 	<ul style="list-style-type: none"> 事例紹介「企業の消費者に対する食品表示の取組 小冊子「食べ物探検隊」改訂②
第4回	開催日		2018年1月26日	
			<ul style="list-style-type: none"> 加工食品の広告・表示規制の現状と課題 	

